

# 圈域活動報告

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 1. 北部圏域（北部福祉事務所）

部会 名等	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
① 相 談 部 会	1) 相談支援専門員人材育成・資質向上	<p>相談支援体制について</p> <p>○サービス等利用計画の作成の等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規に利用を希望する方の計画作成受入が困難もしくは時間がかかる</li> <li>・相談支援専門員の資質の向上が必須（人材育成・ネットワーク構築）</li> </ul> <p>上記踏まえ資質向上を目指す。</p> <p>行政機関・相談支援事業所・サービス提供事業所、医療機関、他障害者の相談に関わる方のスキルup</p>	<p>1 相談支援従事者等研修会の開催</p> <p>(1) 圏域の障害者支援に関わる関係者に対する研修。他圏域アドバイザーへ協力依頼。</p> <p>目的：支援者のスキルUP（ケアマネジメント強化）、情報の共有 連携強化など</p> <p>研修会実施</p> <p>◎第1回</p> <p>開催日程：令和4年 7月13日(水)</p> <p>14：00～16：00（ZOOM開催）</p> <p>参加者：圏域相談支援専門員、サービス管理責任者等(50名参加)</p> <p>【講義1】意思決定支援について学ぶ</p> <p>講師： 南部圏域AD 溝口哲哉氏</p> <p>【講義2】ケアマネジメント基礎編「ニーズってなに？」</p> <p>講師：中部圏域AD 津波古悟氏</p> <p>◎第2回</p> <p>開催日程：令和4年11月29日(火)</p> <p>10：00～12：00（ZOOM開催）</p> <p>参加者：圏域相談支援専門員、サービス管理責任者(53名参加)</p> <p>【講義1】相談支援従事者等法定研修について</p> <p>講師：南部圏域AD溝口哲哉氏</p>	<p>1 人材育成</p> <p>(1) 相談支援専門員のフォローアップ</p> <p>(2) 資質向上・質の担保</p> <p>(3) 効果的な研修会の企画・開催</p> <p>2 地域づくり</p> <p>自立支援協議会の運営</p> <p>自立支援協議会を活性化、その他</p> <p>3 地域生活支援拠点について</p>
	2) 圏域連絡会議にて市町村担当者（新任）の制度・仕組等情報の得られる場が必要である。	市町村担当者（新任）制度・仕組等情報の得られる機会をフォローアップ連絡会に組み入れている。	<p>フォローアップ連絡会の開催</p> <p>(1)目的：相談支援専門員のスキルUP（ケアマネジメント強化）、情報の共有 連携強化、サービス等利用計画作成に関することなど</p> <p>(2) 対象者：市町村職員・圏域内相談支援専門員等</p> <p>(3) 開催日：令和4年 6月2日（木）14：00～16：00（ZOOM開催）</p> <p>(4)講師： 南部圏域AD溝口哲哉氏</p> <p>沖縄県障害福祉課 仲村美幸氏</p> <p>(5)参加者：北部福祉事務所 市町村 委託相談指定特定相談支援事業所</p> <p>(6)内容：①相談支援専門員関連法定研修</p> <p>②自立支援協議会及び相談支援体制強化に向けた取り組みについて</p> <p>③地域生活支援拠点等について</p> <p>④新型コロナウイルス感染症対策</p> <p>今回ZOOM開催でもあったため八重山圏域及び宮古圏域も参加した。参加者40名</p>	<p>今後も継続的に行う。</p> <p>令和5年1月23日部会（ZOOM）を開催し情報を収集して取組や課題について共有する。</p>
	3) サービス管理責任者連絡会	<p>平成27年9月沖縄県障害者自立支援協議会 相談支援・人材育成部会（主管：ケアマネワーキング）</p> <p>「相談支援体制の充実のための取組と提言」より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス管理責任者は、対外的なこと、事業所内部の調整等々、日々迷いながら努めていることや、相談ができず一人で抱え込んでしまう等あり、スーパーバイズが必要。</li> <li>・支援現場からの情報収集が難しい。</li> <li>・業務の整理が難しい。個別支援計画をじっくり作成する時間が取れない。</li> </ul> <p>北部圏域においてもサービス管理責任者の支援スキル資質の向上、ネットワーク構築が必要との声があり、平成28年7月よりサービス管理責任者連絡会準備会を月1回開催。</p>	<p>(1)サービス管理責任者連絡会</p> <p>目的：サービス管理責任者の支援スキル資質の向上、ネットワーク構築を</p> <p>目的に連絡会開催。</p> <p>開催：2ヶ月／1回程度</p> <p>参加者：北部福祉事務所圏域の委託相談支援事業所、圏域AD、サービス管理責任者（各分野より）就労 GH 入所児童分野より招聘</p> <p>(2)サービス管理責任者研修会</p> <p>開催日：11月29日（水）</p> <p>10：00～12：00（ZOOM）</p> <p>【講義1】相談支援従事者等法定研修について</p> <p>講師：南部圏域AD溝口哲哉氏</p> <p>参加者：圏域相談支援専門員、サービス管理責任者(53名参加)</p>	<p>サービス管理責任者の資質の向上・ネットワークの構築について話し合うテーブルづくり</p>

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 1. 北部圏域（北部福祉事務所）

部会 名等	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
① 相 談 部 会	4)自立支援連絡会議 事務局会議	圏域の情報共有及び自立支援連絡会議の方向性の確認	1 定期的毎月開催 年/12回 北部福祉事務所地域福祉班、委託相談支援事業所、圏域アドバイザー、コーディネーター 北部圏域相談支援専門員連絡会 目的：管内の相談支援専門員のスキルアップ及び連携の強化を目的に実施 対象：管内の相談支援専門員 開催日程：年2～3回 ◎第1回 開催日：4月26日（火） 13：30～16：00（ZOOM） 参加者：28名参加 内容：①令和3年度相談部会の取組について ②令和4年度相談部会取組計画について ③各事業所の取組状況について	感染対策とZOOM等活用した。研修等の開催
	相談支援専門員人材育成・資質向上	相談支援事業所（相談支援専門員） 圏域内の相談支援事業の状況は令和4年6月現在16事業所中10件が一人相談支援専門員という状況下にある。 ※相談支援専門員の経験年数は過半数が5年未満	◎第2回 開催日：7月27日（水） 13：30～16：00（ZOOM） 参加者：29名参加 内容：①北部圏域における相談支援専門員の現状について ②圏域内相談支援事業所アンケートについて ③情報交換	
	相談支援専門員のフォローアップ（一人事業所の支援）	事業所内では相談支援専門員のフォローが困難。  ・相談支援専門員が委託相談等他の事業所に気軽に相談できる仕組みづくりが必要。		
	5)地域移行・地域定着支援ワーキング	・地域移行に関する事業推進 ①地域における医療と福祉の連携体制整備  上記踏まえ資質向上を目指す。  行政機関・相談支援事業所・サービス提供事業所、医療機関、他障害者の相談に関わる方のスキルup	1 地域移行・地域定着支援ワーキングコア会議 ① 開催日：令和4年5月24日（火） 11：00～12：00（ZOOM） 参加者:委託相談、圏域AD、北部保健所 内容：県より市町村へ事例報告の依頼ある等共有する。 ② 開催日：令和4年9月27日(火) 11：00～12：00@対面会議 北部福祉事務所、健康増進室 参加者:委託相談、圏域AD、北部保健所 内 容:地域移行・地域定着支援に関する協議の場、市町村1事例の提出について 2 地域移行・地域定着支援ワーキング 開催日：令和4年11月24日(木) 14：00～16：00（ZOOM） 参加者：名護市、本部町、今帰仁村、国頭村、大宜味村、東村、伊江村、名桜大、訪問看護ステーションデューン、委託相談支援事業所、琉球病院、本部記念病院、北部保健所 内 容:市町村より事例報告・意見交換	1市町村より事例報告 事例より課題を整理し 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築のヒントづくり 令和5年1月23日部会（ZOOM）を開催し情報を収集して取組や課題について共有する。

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 1. 北部圏域（北部福祉事務所）

部会 名等	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
② 療育・ 教育部会	発達障害児者支援体制整備	①どの市町村においても、親（保護者）支援の必要性を感じている。保護者は、「生活」という長くかつ密度の濃い時間を子供と過ごしている。保護者が子育てに困りながらも「どう付き合っているか」「何ができそうか」と考えて行動できるように、支援者がサポートできる仕組みが求められている。 ② 近年、北部圏域においても放課後等デイサービス事業所の設置数が増えている。障害児通所事業所に求められている役割と障害児相談支援事業に求められている役割について、再確認できる機会が必要。	① 4/2 から 4/8 まで自閉症啓発デーのパネル設置による広報活動 ② 6/2 2 北部圏域自立支援連絡会議療育・教育部会においてペアレントプログラムについて各市町村での取組を参考に好事例について各市町村とも共有を図った。参加者 23 名	令和 5 年 1 月 24 日に部会を（ZOOM）開催し情報を収集して取組や課題について共有する。
	医療的ケアを必要とするご家族が利用できる資源や制度について	① 北部圏域内でも、医療機関を退院して地域生活に移行する場合、又は地域生活を継続する場合には、家族にきめ細かな支援が求められ、多職種で援助していくことが想定される。そこで、多職種からご家族に資源や制度について情報を届けていけるツールが必要と考える。 ② 医療的ケア児が身近な地域で適切な支援を受けられるように、関係機関での支援体制を構築する事が重要であり、圏域単位及び市町村単位で、関係、関係機関等が連携を図るための協議の場の設置が求められている。	① ガイドブック作成委員会を継続して実施していく。今年度実施予定（1回/年）。 ② 6/2 2 北部圏域自立支援連絡会議療育・教育部会において各市町村の個別事例の取組みや、医療的ケア児等コーディネーターの役割機能について、課題や好事例の共有を図った。参加者 23 名 ③ 医療的ケア児に関する研修会今年度実施予定（1回/年）	令和 5 年 1 月 24 日に部会を（ZOOM）開催し情報を収集して取組や課題について共有する。
③ 就労部会	① 北部圏域の福祉サービス事業所の情報提供のあり方検討	① ワムネットへの掲載促進や県ホームページへ就労支援事業所リストを更新するなどの方法で管内の事業所情を提供する	① ワムネットや沖縄県HPに利用を促し次年度はQRコードで一覧表にする等を検討した。	① 管内の就労移行支援事業の実態について把握する必要がある。どう進めていくか検討中。
	② 就労支援事業所の連絡会議の開催	② 各事業所のスキルアップや連携構築に有効で継続して取り組む必要がある	② 11/28 に北部合同庁舎にて対面形式で開催。名護公共職業安定所の職員より障害特性理解や自己理解を深めるための就労パスポート作成について説明をいただいた。今回はグループワークも取り入れ課題等を共有した。また沖縄セルフセンター主催 12/19 「障害者工賃向上支援事業職員研修会」経営力・工賃向上セミナー」の案内を関係機関に行った。	② 今後も継続していく。
	③ 就労支援事業所のスキルアップに関すること	③ 就労支援員のスキルアップを行う	③ 令和 5 年 2 月上旬開催へ向け調整中（ZOOM 予定）	③ 就労支援事業所連絡会等が出された課題に沿って研修会を企画する 令和 5 年 2 月 17 日スキルアップセミナーを開催予定。
	④ 年 2 回北部 9 市町村及び関係機関の就労に関する取組み状況把握	④ 北部 9 市町村及び関係機関の就労支援の取組等現状や状況等を報告し共有する	④ 第 1 回 6/22 開催（ZOOM） 北部 9 市町村及び関係機関からの報告を受け、部会開催状況や取組、課題を共有した。	④ 北部 9 市町村及び関係機関へアンケートを依頼。 ・就労支援部会の設置状況 ・優先調達推進法の現状報告 ・公的機関の障害者雇用状況と今後の採用について 令和 5 年 1 月 24 日に部会を（ZOOM）開催し情報を収集して取組や課題について共有する。

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 1. 北部圏域（北部福祉事務所）

部会名等	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
④ 住 ま い ・ 地 域 支 援 部 会	1 地域生活支援拠点等の体制整備について	障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入・対応、専門的人材、地域の体制づくり）を地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい児者の生活を地域全体で支える地域づくりが求められている。 市町村の自立支援協議会を活用し様々な資源を結び付け、北部の地域性を生かし、地域で障がい児者やそのご家族が安心して生活をするための体制整備について本会にて取組と課題を共有することで北部圏域の促進を目指す。	北部圏域障害者自立支援連絡会議 住まい暮らし部会 年2回開催  令和4年度第1回 令和4年6月21日（火） リモート開催 内容 9市町村へ確認事項 ①地域生活支援拠点等の取組の情報共有 ②市町村自立支援協議会 x ③相談部会や住まい暮らし部会で共有した地域の課題を確認し、協議したい内容について情報共有を図る。 ④新たなネットワーク4の構築もしくは資源開発について共有。 第2回は令和5年1月23日予定	1 緊急時を生まない日頃の関わり、支援について ①ニーズの掘り起し ・高齢の親と同居する当事者世帯 ・支援区分の申請による体験の準備 ・周知、広報 ・地域住民 ・相談支援事業所 ・短期入所施設 ・通所系日中活動事業所 ②「いざという時の備え」について緊急時の連絡網 日頃から、ご本人、ご家族の意向確認が必要 もしも・・・ 自宅に居る時に怪我をしたら？ 発熱が続いたら？ 具合が悪くなったら？ ご本人と連絡がとれない！ 計画相談利用者の「サービス等利用計画」に「いざという時の備え」について、支援計画があるといいなあ
	2 居宅介護、短期入所、移動支援等のサービス提供について情報共有を図る	住まい暮らしに関する地域の受け皿について、課題を抽出、整理し、生活に不安を抱える障がい児者、ご家族が故郷や住み慣れた地域で住み続けるための手立てとなるよう努め、かつ北部の市町村の福祉サービスの実施、提供の状況について情報共有することで促進を目指す。	居宅介護・短期入所に関する事前アンケートにより情報を共有 北部圏域自立支援連絡会議住まい暮らし部会 令和4年度第1回 令和4年6月21日（火）リモートにて共有 ①短期入所施設への緊急一時受入契約状況、協議の場、進捗状況の把握 ②公営住宅 高齢者・障害者優先入居状況/連帯保証人の有無について共有	①緊急一時保護先の拡充 ・市にサービスが集中している ・就労訓練事業はどの市町村にもある ・居宅介護サービスが利用できない地域がある ・GHを利用する為にはサービスのある市町村へ転居しなくてはならない ②公営住宅 高齢者、障害者入居について 連帯保証人が必要 高齢者・障害者の優先入居の拡充 *高齢者、障害者の単身入居を認められていた（一部条件付き）
	3 地域移行・地域定着支援ワーキング →相談部会にて報告			

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 2. 中部圏域（中部福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
① 相談部会	1)第1回中部圏域相談支援従事者等研修会の開催	○計画相談員・委託相談員その他関係機関の相談員を対象に、各々が感じる魅力とやりがいを共有し掘り下げる研修会を実施し、相談支援専門員の資質向上を図る。 ○R3実施の「相談支援体制実態把握調査」における一人事業所多数、3・7年目離職多数という結果により、相談員のスキルアップやフォローアップ体制構築を目的とした研修として中部圏域相談支援部会が企画。	・研修テーマ：相談支援専門員の「魅力とやりがい」について考える ・開催日時：令和4年10月25日（火）14:00～17:00@オンライン（zoom） ・対象：計画相談員、委託相談員、その他関係機関相談員 ・受講修了者数：81名 ・内容：シンポジウム、グループワーク	○事業所間・個人間のネットワーク構築に資する研修であったが、組織的なフォローアップ体制構築には市町村を関与させる必要がある（少なくとも立ち上げには）。 ○グループワーク運営を担うファシリテーターの実践機会を増やす必要がある。 ○メンタル面をフォローする研修とテクニク・スキル面をフォローする研修をセットで実施する必要がある。
	2)第2回中部圏域相談支援従事者等研修会の開催	○委託相談員を対象に、委託相談員の役割・機能について再確認する研修会を実施する。 ○中部圏域住まい地域支援部会とタイアップし、当該部会の専門分野に沿った研修サブテーマを選定する（精神障害の特性理解、多職種連携、余暇支援を含めた地域定着支援、対人援助技術など）。	・研修テーマ：委託相談員の役割・機能について（予定） ・開催日時：令和5年2月17日（金）予定 ・対象：委託相談員 ・内容：シンポジウム、グループワーク※検討中	○基幹相談を設置しない自治体の障害者支援体制の把握、また、当該自治体への圏域におけるフォローアップ体制整備の必要性検討。
	3)第3回中部圏域相談支援従事者等研修会の開催	○第1回中部圏域相談支援従事者等研修会の開催後、参加者よりスキル面の向上に関する研修開催の要望があり、コアメンバーを中心に開催に向けて検討している（ケアマネジメントの基礎、インテーク・アセスメント、チームアプローチ、計画書の書き方など）。	・研修テーマ：相談支援専門員に必要なテクニク・スキルを学ぶ(予定) ・開催日時：令和5年3月10日（金）予定 ・対象：計画相談員、委託相談員、その他関係機関相談員 ・内容：講義、シンポジウム、グループワーク※検討中	○圏域研修と併せ、各市町村において相談支援部会等でメンタル面のフォローを含めたスーパービジョン体制の構築、相談支援支援専門員同士のネットワークの場づくり、スキルアップ研修開催等を継続的に検討、開催していくことが必要。
	4)来て！見て！みらい発見！お仕事体験ウィーク（中部圏域4部会合同研修）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する企業体験会について、支援者等の参加、体験の振り返りを行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（イベント実施が未定）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する事業への関与、協力方法等につき今後協議が必要（中部圏域4部会）。
	5)就労アセスメントツールの実践及び実践報告会の実施（中部圏域4部会合同研修）	中部圏域4部会のコアメンバーが就労アセスメントツールBWAP2の実践、web研修等を行い、報告会で実践報告を行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（がじゅま〜が主催し全圏域向けの研修とする。実践メンバーの提出と広報等協力予定）	中部圏域における就労アセスメントツールの普及について協議が必要。
② 療育・教育部会	医療的ケア児コーディネーター連絡会の開催	医療的ケア児コーディネーター養成研修受講者及び市町村関係課職員を対象に、医療的ケア児コーディネーターの機能等を再確認するとともに、圏域・市町村における支援の現状・課題を共有するための連絡会を実施し、医療的ケア児コーディネーターのネットワーク構築を図る。	医療的ケア児コーディネーター連絡会 ・開催日時：令和5年3月2日（木）13:30～16:30（予定） ・対象：医療的ケア児コーディネーター養成研修受講者、市町村関係課職員 ・内容：行政説明、先進事例報告、GW	○スキルの維持、ネットワーク構築のためには定例化が望ましいため、今後協議。 ○（※医療的ケア児支援の取組として）中部圏域医療的ケア児サポートガイドの更新。全県版のフォーマット作成の必要性を協議（管内市福祉事務所にて圏域サポートガイドを市版に変更して利用中）
	保育所等訪問支援事業所連絡会の開催	保育所等訪問支援サービスを行う事業所を対象に、圏域・市町村における支援の現状・課題を共有するための連絡会を実施し、事業者間で差が生じている支援スキルの標準化を図る。	保育所等訪問支援事業所連絡会 ・開催日時：令和5年3月8日（水）15:00～17:00（予定） ・対象：中部圏域のサービス指定事業所 ・内容：行政説明、シンポジウム、GW	スキルの維持、ネットワーク構築のためには定例化が望ましいため、今後協議。
	放課後等デイサービスの実態調査結果の中部圏域における課題等協議、放デイ向け研修会の実施	障害福祉課実施の放課後等デイサービス実態調査の結果から中部圏域における支援上の課題等を抽出・分析し、協議の上で放課後デイサービス向けの研修会を実施。	未定（現在障害福祉課から市町村あてアンケート調査実施中）	実態調査実施年度中において、圏域の課題抽出・協議等は時間的に困難、次年度の取組とするか協議。

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 2. 中部圏域（中部福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
② 療育・ 教育部会	来て！見て！みらい発見！お仕事体験ウィーク（中部圏域4部会合同研修）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する企業体験会について、療育の視点から支援者等の参加、体験の振り返りを行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（イベント実施が未定）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する事業への関与、協力方法等につき今後協議が必要（中部圏域4部会）。
	就労アセスメントツールの実践及び実践報告会の実施（中部圏域4部会合同研修）	中部圏域4部会のコアメンバーが就労アセスメントツールBWAP2の実践、web研修等を行い、報告会で実践報告を行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（がじゅま〜るが主催し全圏域向けの研修とする。実践メンバーの提出と広報等協力予定）	中部圏域における就労アセスメントツールの普及について協議が必要（中部圏域4部会）。
③ 就労部会	中部圏域市町村の就労部会設置の推進	中部圏域において就労支援について協議する場を設定している自治体が少なく（うるま市、読谷村）、圏域内で取組状況に温度差がある。中部圏域における就労支援の先進自治体及び障害者雇用を実践している企業から事例報告等を行い、就労支援のあり方について議論する。	就労部会研修 ・テーマ：就労支援の充実を目指して ・開催日時：令和5年1月24日（火）13:30～16:30 @zoom ・対象者：計画相談員、市町村の基幹相談及び委託相談、市町村職員 ・内容：市町村・企業の実践事例報告、グループワーク	引き続き、中部圏域市町村における就労部会設置の推進
	来て！見て！みらい発見！お仕事体験ウィーク（中部圏域4部会合同研修）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する企業体験会について、支援者等の参加、体験の振り返りを行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（イベント実施が未定）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する事業への関与、協力方法等につき今後協議が必要（中部圏域4部会）。
	就労アセスメントツールの実践及び実践報告会の実施（中部圏域4部会合同研修）	中部圏域4部会のコアメンバーが就労アセスメントツールBWAP2の実践、web研修等を行い、報告会で実践報告を行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（がじゅま〜るが主催し全圏域向けの研修とする。実践メンバーの提出と広報等協力予定）	中部圏域における就労アセスメントツールの普及について協議が必要。
④ 住まい・ 地域支援部会	地域移行・定着支援事例の検証及び考察	1事例1報告の事例を検証・考察し、地域移行・定着支援のあり方について議論する。	○圏域アドバイザーが実施する市町村情報交換会において、コーディネーターが同行し地域移行等支援の取組確認及び取組へのサポート申し出。（情報交換会は令和4年6月～7月実施、管内11市町村※一部を除きオンラインで実施） ○令和3年度事例報告の再確認 ○令和4年度事例への参画状況確認、進捗確認、報告事例概要の報告	○事例がなく未報告の市町村があるため、各市町村における事例・取組の共有。 ○市町村視点の支援事例だけでなく、（同じ事例でも）病院等異なる目線からの支援事例があれば気づきを得られる。
	居住サポートに係るアンケート調査の実施	中部圏域の市町村及び委託相談を対象に、居住支援に係るアンケートを実施し、アンケート結果に基づいた課題を共有、議論する。	アンケート調査実施 ・実施期間：令和5年1～2月（予定） ・対象：市町村、委託相談 ・内容：市町村が実施する居住支援事業の実態及び課題等（予定）	アンケート結果に基づいた課題の抽出及び課題につき、次年度再度協議を行い、県住まい地域支援部会へ報告を行う。
	第2回中部圏域相談支援従事者等研修会への参画	○第2回中部圏域相談支援従事者等研修会において、中部圏域住まい地域支援部会の専門分野に沿った研修サブテーマを提案し、相談支援部会の研修企画に参画する。 以下提案テーマ。 ①精神障害者の入院・退院時の意思決定支援 ②精神障害者のコミュニティソーシャルワークのあり方	・研修テーマ：委託相談員の役割・機能について（予定）、サブテーマとして住まい地域支援部会の提案テーマを選定予定 ・開催日時：令和5年2月17日（金）予定 ・対象：委託相談員 ・内容：シンポジウム、グループワーク（検討中）	※内容検討中、未実施のため、住まい地域支援部会としての課題未把握
	来て！見て！みらい発見！お仕事体験ウィーク（中部圏域4部会合同研修）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する企業体験会について、支援者等の参加、体験の振り返りを行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（イベント実施が未定）	中部地区障害者就業・生活支援センターが実施する事業への関与、協力方法等につき今後協議が必要（中部圏域4部会）。
	就労アセスメントツールの実践及び実践報告会の実施（中部圏域4部会合同研修）	中部圏域4部会のコアメンバーが就労アセスメントツールBWAP2の実践、web研修等を行い、報告会で実践報告を行う。	※中部圏域の取組としては、取りやめ（がじゅま〜るが主催し全圏域向けの研修とする。実践メンバーの提出と広報等協力予定）	中部圏域における就労アセスメントツールの普及について協議が必要。

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 3. 南部圏域（南部福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
① 相談部会	<p>5月より毎月第4木曜日の午前中でZoomにて、部会を実施。</p> <p>圏域研修を年に2回（7月、R5年2月）実施。</p> <p>各市町村の基幹相談員や委託相談員が代表となり委員で参加してもらう。</p> <p>今年度の重点目標を設定する。</p>	<p>構成委員は各市町村の基幹や委託から相談員が1人の参加で計11人。市町村によっては、会議の際に2人（基幹と委託）で参加する所もある。オブザーバーは6人で各部会の部会長やコラボレーター、がじゅまーが参加。</p> <p>重点目標として、①相談員のモチベーションアップと維持、中堅層の人材育成、定着、繋がりが。②市町村と圏域の課題の把握、共有、離島支援に向けての取り組み。③援拠整備を含む各部会との連携。の3つに重きを置き意見交換と情報共有を行う。また市町村の報告については、報告書を作成し、参加出来ない時でも共有出来るようにしている。</p> <p>7月4日に第一回研修会を実施。（内容：相談支援従事者法定研修体制について/自立支援協議会及び相談支援体制強化に向けた取組について）</p>	<p>○市町村の状況報告では、各部会の動き、協議内容を報告する事で、各市町村の動きを共有する事が出来ている。また市町村における1事例の取り組みについても進捗状況を確認する事が出来た。また課題も共有する事で圏域としての課題の把握が出来ている。</p> <p>○第1回の研修では管内9市町の行政職員、基幹・委託相談支援事業所職員が参加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村をまたいで支援を行う際に、居住地とサービス支給決定を行っている行政が違う（居住地特例）際に連携がスムーズにいかないケースがある。よりスムーズに連携が取れるように県や圏域としての指南があるとよい。</li> <li>・相談体制については、県からの指標は出ていたり、研修会等は行なえているが、サービス提供事業所に対しての指導、研修等の実施が県としてあってもよい。また圏域としては各部会との連携で研修会の開催を企画する必要がある。</li> <li>・地域生活拠点について、進行具合や考え方にバラつきがある。圏域として県と足並みがそろえるようにした方がよい。圏域の拠点整備部会の設置があってもよい。</li> <li>・短期入所の整備が進まず、利用出来ないとの相談が多い。この課題は依然と続いており解決出来ていない。解決する為にはどのようにしたら効率的に進められるかを県として、圏域として考えていく必要がある。</li> </ul>
② 療育・教育部会	<p>第1回療育・教育部会研修会</p>	<p>市町村における医療的ケア児の支援体制整備に関する研修の実施</p>	<p>実施日：令和4年11月10日</p> <p>研修名：医療的ケア児の支援体制整備について</p> <p>参加人数：124名</p>	
③ 就労部会	<p>部会の開催</p> <p>研修会の開催</p>	<p>【活動目標】圏域の情報が当事者・事業所に周知・共有され、障がいのある方々が安定・安心して働けるよう支えていくこと。</p> <p>消費者トラブル防止のための支援者向け研修の実施</p> <p>就労支援事業所の意見交換・情報交換会の実施</p>	<p>令和4年5月・7月・8月に就労部会開催。情報共有や研修会の企画を行った。</p> <p>① 障がい者の消費者被害未然防止研修（令和4年9月14日実施） 対面・オンラインのハイブリッド開催 ※南部地区障がい者就業・生活支援センターから共催 （会場）沖縄県立博物館・美術館</p> <p>② 就労支援事業所 オンライン情報・意見交換会（令和4年11月29日実施）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、地域の福祉事業所やナカボツとの連携体制が求められてくる体制に向けて情報を集約しやすい体制整備。圏域の市町村へ就労部会への参加と意見交換。</li> <li>・コロナ禍で当事者の生活面の課題が継続している。継続課題としては余暇支援が困難だったという意見が継続している為、余暇支援マップをHP上にて作成案を検討中。</li> </ul>

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 3. 南部圏域（南部福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
④ 住 ま い ・ 地 域 支 援 部 会	年2回（6月・8月）の部会開催	<p>目標：圏域の情報共有とワーキング内容の確認（協議内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町村住まい部会の情報共有</li> <li>・ワーキング内容の確認（重点目標〈キーワード〉）</li> <li>・支援者育成</li> <li>・協議の場づくりを支える（圏域市町村の協議の場）</li> <li>・連携のあり方</li> </ul>	<p>第1回：令和4年6月9日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動計画について</li> <li>・市町村における地域移行支援・地域定着支援に係る事例・取組の報告について</li> </ul> <p>第2回：令和5年2月21日（火）開催予定</p>	<p>第3回ワーキングの報告をまとめ、課題・提言を提示する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 圏域他部会との情報共有と連携</li> <li>* 共同研修会計画など次年度の取組の意見集約</li> <li>* 保健所主催の連絡会議等との情報共有と連携</li> </ul>
	地域移行・定着ワーキングの継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例を通して社会資源（ハード）と人材育成（ソフト）の整理と開発・育成する。（重点目標）</li> <li>・つながり（連携）のイメージを共有</li> <li>・協議の場づくりとサポート</li> <li>・資源状況の把握・情報提供</li> <li>・支援者支援（活動計画）</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ワーキングで事例を共有する→課題の共有と整理</li> <li>2. 住まいの課題を議論する（相談部会や他部会との連携）</li> <li>3. 各市町村の暮らしを支える資源調査（グループホーム、シェアハウス、ヘルパーステーション等）</li> <li>4. 支援者支援の方法を探る（研修計画実施・各市町村の協議会支援）</li> </ol>	<p>第1回：令和4年7月21日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例の紹介と検討</li> <li>・市町村における地域移行支援・地域定着支援に係る事例・取組の報告について</li> <li>・資源調査について</li> </ul> <p>第2回：令和4年10月20日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築の手引きについて（情報共有）</li> <li>・事例の紹介と検討</li> </ul> <p>第3回：令和5年1月19日（木） ※開催予定</p>	<p>第3回ワーキングの報告をまとめ、課題・提言を提示し、部会に提出する予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 圏域他部会との情報共有と連携</li> <li>* 保健所主催の連絡会議等との情報共有と連携</li> <li>* 市町村事例から課題整理し「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」構築に向けてヒントなる好事例等情報提供する。</li> </ul>

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 4. 宮古圏域（宮古福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
① 相 談 部 会	①相談支援部会	<p>第1回：6月6日(月)</p> <p>・令和3年度の取組報告と令和4年度の活動計画について</p> <p>・他圏域アドバイザー及びコーディネーターより宮古圏域の相談支援体制の構築について助言</p> <p>第2回：12月20日(火)</p> <p>・令和4年度の宮古圏域取組報告について</p> <p>・宮古島市及び多良間村の地域生活支援拠点等整備、体制構築に向けて</p> <p>・今後の部会での取り組みについて意見交換。就労に特化した協議の場を設けるため令和5年度から意見交換会を行うことを提案した。</p>	<p>第1回：6月6日(月)</p> <p>主な協議事項：</p> <p>(1)圏域、宮古保健所、宮古島市、多良間村の令和3年度取組報告及び令和4年度取組計画について報告</p> <p>(2)他圏域アドバイザー及びコーディネーターより各圏域での部会のテーマや重点目標について報告</p> <p>・宮古圏域の相談支援体制構築のため、他圏域アドバイザーより各圏域の相談支援体制について報告</p> <p>・宮古圏域はコーディネーター不在のため、コーディネーター事務局・山城氏より他圏域の状況について活動報告</p> <p>第2回：12月20日(火)</p> <p>主な協議事項：</p> <p>(1)令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画</p> <p>(2)令和5年度の宮古圏域相談支援部会の体制構築について提案</p> <p>圏域の部会は相談支援部会と療育・教育部会の2部会のため、部会にて就労や居住について協議が乏しく、各分野に特化したテーマに沿った協議が難しい状況にある。</p> <p>相談支援部会の枠組みにおいて就労や居住に係る関係者を中心にコア会議（ワーキングチーム等）を設置し、その中で議論を行う。</p>	<p>・相談支援体制構築</p> <p>・圏域コーディネーターの確保</p> <p>・宮古圏域の設置部会は相談支援部会及び療育・教育部会となっており、就労や居住に関するテーマに特化した協議が難しい。</p> <p>≪提案≫</p> <p>テーマ：</p> <p>「テーマに特化した意見交換できる仕組み」</p> <p>目的：相談支援部会内に相談や就労、居住等、テーマごとの意見交換の場を設置する。構成員についてはそのテーマに添って招集していく。</p> <p>展望：（取組テーマ）</p> <p>相談支援部会の中で就労支援や居住支援に特化した協議を実施。</p> <p>・圏域と市・村との役割の棲み分け</p> <p>・市・村のフォロー体制の構築</p> <p>・取り組みについて整理</p> <p>・就労系サービスの質の向上</p> <p>・支援者向け研修</p> <p>・一般就労との連携</p> <p>・地域の受け皿づくりの支援 等</p>
	②宮古圏域相談支援従事者等研修会	<p>第1回：6月17日(金)</p> <p>テーマ「宮古圏域における相談支援体制・チーム作りの方法について」</p> <p>第1部：講義</p> <p>第2部：ワーク形式</p> <p>(今後の開催予定)</p> <p>第2回：2月3日(金)</p>	<p>第1回：6月17日(金)</p> <p>参加者…32名</p> <p>講師：北部圏域アドバイザー 安村勤氏 中部圏域アドバイザー 津波古悟氏 南部圏域アドバイザー 溝口哲哉氏 コーディネーター事務局 山城涼子氏</p> <p>目的：相談支援従事者等の資質向上を図り、相談支援体制の充実につなげる。</p> <p>実績：他圏域の相談支援体制を学び、チームアプローチの重要性を学んだ。</p>	<p>・中核を担う相談支援専門員の育成並びに定着</p> <p>・相談支援体制の構築並びに他職種連携</p>
	③サービス管理責任者連絡会	<p>第1回：5月18日(水)</p> <p>テーマ：「意見交換会」</p> <p>第2回：9月5日(月)</p> <p>テーマ：「アセスメント・モニタリングの基礎について」</p> <p>第3回：12月19日(月)</p> <p>テーマ：研修「サービス等利用計画と個別支援計画の連動」「ご本人の権利擁護の視点について」</p> <p>(今後の予定)</p> <p>第4回：3月13日(金)</p>	<p>第1回：5月18日(水)</p> <p>参加者：13名</p> <p>・支援での困りごと、コロナ対策などについての意見交換会</p> <p>第2回：9月30日(火)</p> <p>参加者：10名</p> <p>・各自アセスメントシート及びモニタリングシートを持参し、シート活用方法についての意見交換会</p> <p>第3回：12月19日(月)</p> <p>参加者：19名</p> <p>・サービス等利用計画書と個別支援計画書の連動。相談員とサビ管・児発管の連携強化の必要性について学んだ。また、ご本人支援をする上で権利擁護・意思決定支援の重要性について学んだ。</p>	<p>・サービス管理責任者間の連携</p> <p>・サービス管理責任者のスキルアップ</p>

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 4. 宮古圏域（宮古福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
②療育・教育部会	①療育・教育部会	第1回：令和4年6月6日（月） ・令和3年度の取組報告・令和4年度取組計画(案)の報告、意見交換  第2回：令和4年12月20日（火） ・令和4年度の取り組み報告・課題、令和5年度の取組計画、	第1回：6月6日(月) 主な協議事項： (1)圏域、宮古教育事務所、宮古島市、多良間村の令和3年度取組報告及び令和4年度取組計画について報告  第2回：12月20日(火) 主な協議事項： (1)令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画 (2)E-ケア児への支援における課題 (3)福祉、医療、学校の連携について	(1)療育（福祉）と教育の連携をテーマに研修企画  (2)福祉と教育（学校・SSW）との話し合いの場の設置（連携強化）  (3)圏域発達障害研修の企画  (4)児童デイ職員に向けたスキルアップ研修の検討
	②障害児等療育支援事業担当者会議	第1回：令和4年11月21日(月)  第2回：令和5年1月12日(木)	第1回：令和4年11月21日(月) 参加者：7名(療育支援事業所3名) (協議事項) ①各事業所の療育事業の進捗状況について報告 ②宮古圏域での療育事業(機能)の方向性について ③次年度取り組み計画  第2回：令和5年1月12日(木) 参加者：7名(療育支援事業所3名) ①連携強化について ②障害児等療育支援事業の見える化	①事業所内のST職員にて支援を行うための機能の強化や算定を減少せずに支援の間口を広げる方法等について引き続き協議を行う。 ②療育事業所間での連携(引継ぎなど) ③児童デイとの連携等について(療育⇒児童デイへの移行)、情報共有、意見交換。 ④中部療育医療センター終了により県立宮古病院小児科、リハビリ科との医療連携維持について
	③ペアレント・プログラム研修の開催	・発達障害をはじめとする子育てに不安を感じる保護者への子育ての支援や発達が気になる子を早期の支援につなげることを目的に、子どもへの否定的な視点を肯定的に変えるワーク形式の全7回の講座について、3歳から7歳のお子さんのいる保護者を対象とした研修を実施する。	○開催期間： 令和4年9月15日から令和5年2月9日まで ○研修名： 宮古圏域ペアレント・プログラム ○内容： 自身や子どもの否定的な視点を肯定的に変えるワーク形式の全7回の講座 ○対象者： 3歳から7歳のお子さんのいる保護者(6名修了予定)	・令和5年度は、宮古島市が運営主体となるため引き継ぎを行う。 (多良間村について、体制づくりを検討していく。)

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 4. 宮古圏域（宮古福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
② 療育・ 教育部会	④発達障害児(者)支援に係る圏域別研修 (実施予定の内容)	発達障害のための個別支援ファイル（「えいぶるノート」）普及を目的に、その記入支援について、発達が気になる方のご家族や支援者、教育関係者等を対象とした研修を開催する。	○開催日： 令和5年2月18日（土） ○研修名： あとと助かるえいぶるノート ○内容： 第1部 「えいぶるノートの作り方のコツ、使い方のコツ」について講演 第2部 「えいぶるノートへ記入のワーク」 ○対象者： 発達が気になる方のご家族、支援者	研修後に検討する。
③ 就労部会	宮古圏域での部会の設置はなし。 (相談支援部会及び療育・教育部会2部会のみ設置)	宮古圏域 令和4年度第2回相談支援部会にて、就労に特化した協議の場を設けるため令和5年度から意見交換会を行うことを提案した。  現状： 1. 圏域の部会は相談支援部会と療育・教育部会の2部会のため、部会にて就労や居住について協議が乏しく、各分野に特化したテーマに沿った協議が難しい状況にある。 2. 圏域の自立支援連絡会、専門部会等において市の支援機関が圧倒的に多く、宮古島市と宮古圏域の両部会にて委員を務める方も多い。そのため、圏域や市村の各課題に沿った協議を実施することが困難な状況が継続している。会議において「市と圏域の課題に違いはあるのか。時間の無駄ではないか。」といった声も多く、圏域や市の会議が中止や閉会になったこともあった。今後の課題としては、圏域と市村の役割や機能等の棲み分けの重要性について、委員同士の認識の共有を図ることが挙げられる。	宮古圏域 相談支援部会 日時：令和4年12月20日（火） 午前9時30分から午前11時30分 場所：宮古合同庁舎2階講堂	展望：（取組テーマ） 相談支援部会の中で就労に特化した協議を実施 ・圏域と市・村との役割の棲み分け ・市・村のフォロー体制の構築 ・取り組みについて整理 ・就労系サービスの質の向上 ・支援者向け研修 ・一般就労との連携 等 ※相談支援部会のみでは就労に特化した協議は難しいため、今後は、相談支援部会の枠組みにおいて就労関係者を中心にコア会議（ワーキングチーム等）を設置し、その中で議論を行う。
宮古島市の取組				
	【一般就労】 障害者雇用企業等情報交換会(宮古島市就労支援部会)	障害者雇用に取り組んでいる企業の実践報告等により、企業の障害者雇用について理解促進を図る。企業側のニーズと障害者の特性について互いに理解を深め、一般就労への移行促進を図る。	日時：令和4年10月12日（水） 午後3時から午後5時 場所：JTAドーム研修室	1. 一般企業に対し、情報交換会の周知及び参加者の増加へ向けた取り組みが課題である。今年度は、新聞記事やコンビニの窓ガラスに貼って周知を行う。
	【福祉的就労】 (1)人材育成の機会創成 (2)共同情報発信 (3)事例検討作り (4)共同販売及び優先調達	(1)人材育成の研修企画 (2)各就労支援事業所の情報を冊子にまとめ、相談窓口や学校等へ配布。 (3)前年度就労事業所にアンケートを行い事例検討集の活用について「あったほうがよい」が90%を超え、事例検討集の作成に取り組む。 (4)ナイスハートバザールと連携し、共同販売先の開拓を行う。	(1)宮古圏域アドバイザーを講師に招き、令和4年12月9日に就労継続事業所支援者向け研修会を開催 (2)平成30年に作成した、情報誌の最新版を作成中 (3)事例検討集の作成に向け取組中 (4)コロナ禍の中、取り組みが出来ていない。	(1)職員のスキルアップに向け、今後も継続した取組が必要である。 (2)今後も定期的に最新版を作成し、事業所の周知・活用に取り組む。 (3)事例の集約・発出方法を再検討する。 (4)コロナ禍の中、WGの継続について検討を行う。

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 4. 宮古圏域（宮古福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
③ 就 労 部 会	多良間村取組			
	就労支援部会の設置はなし。	ひきこもり生活から入院を経て、退院後に福祉的就労がない離島での就労支援	多良間村社会福祉協議会と障害者就業・生活支援センターの共同にて支援開始する。現在、就労訓練を経て短時間アルバイトへ移行する雇用形態にて支援を行っている。	(1)多良間村内に障害者支援機関が未設置のため、本人の障害特性に対するアプローチや継続的な支援が必要である。 (2)多良間村内に障害者支援事業所が未設置のため、日常的に支援を提供することが困難となっている。資源的活用には限界がある。
④ 住 ま い ・ 地 域 支 援 部 会	①退院促進連絡会議 (精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築のための協議の場) ※保健所主催	退院促進連絡会議を地域包括ケアシステム構築のための協議の場とする。	新型コロナの影響により開催を延期していたが、令和5年2月実施予定	
	②地域包括ケアシステム事務局会議 (宮古圏域は住まい・地域支援部会設置未のため、相談支援部会にて協議)	第1回：4月18日(月) テーマ：「意見交換会」  第2回：11月28日(月) テーマ：「宮古圏域での精神障害にも対応した包括ケアシステム整備に向けての方向性について」  (今後の開催予定) 第3回：未定	第1回：4月18日(月) 参加者：6名（保健所、宮古福祉事務所、AD、宮古島市） ・各機関の取り組み状況及び課題などについて確認  第2回：11月28日(月) 参加者：7名 ※多良間村担当、今回より参加 ・各機関の取り組み状況及び課題などについて確認。BCP（事業継続計画）取り組み計画の立案、市村のバックアップ機能構築に向けて圏域としての取組方法について意見交換	第1回 ・コロナの影響にて会議の開催ができていない。体制整備に向けてどう継続した協議の構築を行う。  第2回 ・退院後、地域へ戻るためには、地域住民への周知や理解、支援者のスキルアップが必要なため、研修実施に向けた企画を行う。
	宮古島市の取組			
	第1回6/24(木)、 第2回9/9(木) ・大家さんへ障害の理解を広げる説明会（普及啓発）	大家さん向けの説明会を開催する。障害の特性や一人暮らしの障害者の事例などを説明し、前向きに協力してくれる大家さんを増やす。	宮古島市居住支援部会で説明会資料を作成したが、緊急事態宣言の延長に伴い、説明会が開催できなかった。来年の開催を目指す。	(協議予定) ・大家さんへの普及啓発 ・夜間、休日の相談体制 ・キーパーソン調整 (協議が難しい課題) ・居住サポート事業を委託できる保証会社がない ・市内民間住宅の家賃高騰 ・宮古島市内にはあんしん賃貸住宅がない
	宮古島市内の相談支援事業所へアンケート	時間外対応の有無や実施体制について、各相談支援事業所がどのような体制で時間外の相談対応を行っているのか、時間外の相談はどんな内容なのか、集計結果を居住支援部会や自立支援協議会で共有し、時間外の相談対応の課題や相談員の負担軽減に繋がる方法がないか等を検討したい。	今年度アンケート実施中（11月～12月）	・大家さんへの説明のため、相談支援事業所の夜間休日の相談体制、対応状況を確認する必要がある。

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 5. 八重山圏域（八重山福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
① 相談部会	「相談支援専門員の負担を軽減し、圏域の相談支援体制を維持・改善のための方法を話し合う場」として、相談支援部会を立ち上げ、他圏域との連携や、事例検討、研修の企画等をおして相談員の業務改善やスキルアップ等を図る。	①相談支援部会の立ち上げ  ②事例検討会の開催 部会の相談員の抱えるケースについて事例検討を行い、支援方法の模索、地域資源の再確認・開発	【相談支援部会の開催】 ■第1回 令和4年5月27日 相談支援部会の立ち上げ、目的の共有、県・圏域の自立支援体制の確認、他圏域の取組紹介  ■第2回 令和4年1月下旬予定  【相談支援ワーキンググループの開催】 ■第1回 令和4年7月14日 圏域アドバイザーの説明、人材育成ビジョンの紹介  ■第2回 令和4年8月26日 事例検討、県ケアマネワーキングの説明	・相談支援専門員の育成 事例検討や研修をおとした人材育成  ・圏域アドバイザーの選任 現在、八重山圏域にはアドバイザーが不在となっている。将来的にはアドバイザーとして活動できる人材を選任する必要があることから、関係機関と連携し人材育成・発掘に取り組む。
② 療育・教育部会	教育・福祉関係者向け研修の実施	①教育、福祉の連携に向け、沖縄県障害者発達支援センターとともに、学校現場における発達支援に関する内容について、教育、福祉の関係者を対象にした研修を実施	■研修実施日 令和5年1月24日（次年度への開催延期を検討中） ■研修タイトル 教育・福祉関係者向け研修会「学校現場における問題行動の対応を探る～ABCDで考える～」 (内容) 1 学校教育における取組・児童福祉に関する説明 2 ABCD仮説くんを活用した事例対応ワークショップ 3 質疑応答/連絡先交換 ・参加人数 募集中（30名程度を想定）	・引き続き、教育と福祉の連携促進に向けた取組を実施する。
③ 就労部会	I 就労支援事業所の課題の共有	I ① 圏域の就労事業所の情報把握 ② 販促会等の現場視察	I ① 石垣市就労支援連絡会議にオブザーバー参加し、事業所の情報共有を図った。 ・就労支援事業所実践報告研修会 個別支援事例を対象に行った 令和4年12月開催 令和5年3月（第2回予定） I ② 販促会の現場視察 ・八重山地区障がい者美術展 令和4年11月2日	I ① 社会資源が少ない離島において、各事業所で共通の課題等の情報を共有し、互いに改善していく必要がある。 ・就労支援事業所とおしが実践報告に対し質疑応答し、互いに学んだり交流する機会をつくる。
II	教育機関との連携	II ① 就労前（在学中）からの関係機関との連携のあり方を検討	II ① 教育機関と連携し、一般就労や福祉就労の違い等を保護者へ説明することや、学校卒業前に福祉事業所や支援機関、企業などの情報を提供できる方法を検討する。	II ① 教育機関との連携体制構築が課題だが、本人、保護者の不安解消だけでなく、受け入れ側の環境整備にも繋がる。
III	BEWAP2の活用方法に係る研修	III ① 就労アセスメントツールであるBEWAP2の説明や活用方法、沖縄県での活用事例を紹介し、事業所におけるアセスメントの向上	III ① 令和5年2月22日に実施予定	III ① BEWAP2の評価方法を参考にすることで、個々の能力・特性にあった支援を行う手助けとなる。

## 令和4年度 各圏域自立支援連絡会議の取組報告

### 5. 八重山圏域（八重山福祉事務所）

部会名	取組内容	取組の内容説明	取組実績	今後の課題及び提案事項
④ 住 ま い ・ 地 域 支 援 部 会	地域移行・地域定着事例検討ワーキング中心に圏域の課題の洗い出しと解決策の検討、情報共有を行う。	<p>①アルコール依存症の方への支援 圏域の課題となっているアルコール依存症の方への支援について、支援に繋げるまでの第1歩として、「依存を考える家族会」等と連携し、一般向けサポートガイドを作成</p> <p>②事例検討 圏域の地域移行・地域定着に関する情報共有・事例検討</p>	<p>【地域住まい部会の開催】</p> <p>■ 第1回 令和5年2月（予定） 各機関の活動報告、ワーキングの活動内容の報告と今後の課題検討</p> <p>【地域移行・地域定着事例検討ワーキングの開催】</p> <p>■八重山病院や相談支援専門員、保健所、行政担当者等が参加し地域移行・地域定着にかかる困難事例や制度の活用について検討するワーキンググループ</p> <p>■ 第1回 令和4年6月29日 地域移行支援・地域定着支援に係る事例・取組の報告について、圏域市町に事例報告の依頼。アルコールサポートガイド（一般向け）の作成着手</p> <p>■ 第2回 令和4年9月14日 アルコールサポートガイド（一般向け）のたたき台作成。「依存を考える家族会」へ内容確認依頼</p> <p>■ 第3回 令和4年11月16日 アルコールサポートガイド（一般向け）の素案作成。ボランティアへパンフレット作成を依頼</p>	<p>・地域移行・地域定着の支援体制構築の事例の積み上げと地域課題の抽出</p> <p>(1) 作成したアルコールサポートガイドの普及促進</p> <p>(2) 入院患者の地域移行に関する各種制度の活用とそのため体制整備に向けた研修等の開催の検討</p> <p>・地域移行・定着における相談体制に関する課題</p> <p>(1) 今年度から相談支援部会が設置されたため、今後、地域移行・定着に関する課題に対し連携して取り組む必要がある。</p> <p>(2) 令和4年現在、圏域アドバイザー及び地域体制整備事業コーディネーターが不在となっている。引き続き関係機関と連携し相談体制強化に向け取り組む必要がある。</p> <p>・住まいに関する課題 近年、単身向けアパートの家賃が高騰する一方、グループホームが不足しており、居住確保が課題となっている。 また、管理会社等の障害理解を促進するための関係づくりも重要となっている。</p>